

I. 課題名

地方都市にある
ホテルのロビーのインテリア

II. 設計条件

1. 計画目的

地方都市の旧市街地にあるオフィスビルを改修してつくるホテルのロビーである。宿泊者のチェックイン等を行うレセプション機能に加え、宿泊者だけでなく地域住民にとっても日常的なサードプレイス(心地の良い第3の場所)となる交流拠点として街に開かれたホテルのロビーのインテリアを計画する。

2. 周辺状況及び建築物の概要(図-1、2)

- (1) 周辺状況
 - ・敷地は、地方都市の旧市街地の商業地域の一角にある。
- (2) 建築物の概要
 - ・構造、階数 —— 鉄筋コンクリート造、5階建て

3. ホテルの概要

- (1) 1階にロビー、2階～5階は客室である。
- (2) 20～30代を中心とする幅広い世代や外国人の利用を見込んでいる。

4. 設計対象範囲(図-1、2)

- (1) 設計対象範囲は、1階にあり、床面積約187m²である。
- (2) 主な出入口は、1箇所とし、他の出入口を適宜設けてもよい。
- (3) 所要スペースは下表のとおりとする。

所要スペース	特記事項
ロビー	
エントランス	・「外壁又は開口部を設定する範囲」内に出入口を設ける。
レセプション	・宿泊者のチェックイン等を行う。 ・従業員は、2名とする。 ・カフェラウンジのバーカウンターと一体的に計画してもよい。
カフェラウンジ	・軽食、ソフトドリンク、アルコール等を提供し、注文と会計はバーカウンターで行う。 ・テーブル席、ソファ席、大テーブル席を、計40席程度設ける。 ・バーカウンター(6席)を設ける。 ・地元に関する書籍等のあるライブラリーコーナーを設け、座席を8席程度とする。併せて本棚を適宜設ける。
厨房	・20m ² 程度とする。 ・厨房については、平面図兼家具配置図にその範囲(20m ² 程度)のみを記入すること。
テラス	・「テラスを自由に設定できる範囲」内に、テラスを設定し、適宜テーブル席を設ける。
その他必要と思われるスペース・家具は、適宜設けてもよい。	

(4) 床、壁等の設計条件は、下表のとおりとする。

部位	特記事項
床	・仕上材は自由に設定できるものとする。
柱及び梁	・解体・撤去はできない。その位置は、図-1、2に示すとおりである。
壁	・図-1、2に示す「外壁又は開口部を設定する範囲」内の任意の位置に、外壁又は開口部を設ける。
	・解体・撤去ができない壁は、図-1、2に示すとおりである。
間仕切壁	・適宜設けることができる。
天井	・適宜設けることができる。

(5) 空調・換気設備、給排水衛生設備及び電気設備は、自由に設定できるものとする。

III. 要求図書

(1) 設計製図答案用紙〔1〕、〔2〕の所定の位置に、下表の要求図書を完成させる。

要求図書	特記事項
平面図兼家具配置図(縮尺1/50)	・主要な寸法を記入する。 ・スペース名又は室名を記入する。 ・家具、器具等の配置を記入する。 ・床、壁、天井の仕上げを記入する。 ・天井高及び床レベルを記入する。(1階基準FLを±0とする。)
透視図	・設計主旨をよく表している部分を描く。 ・家具と人物も描く。 ・大きさは、W300mm以上、H200mm以上とする。 ・彩色する。
スケッチ	・レセプションまわりを描く。 ・主要な寸法及び仕上げを記入する。
設計主旨	・計画上工夫した点を説明する。

- (2) 鉛筆、色鉛筆、製図ペン又はマーカーのいずれを用いてもよい。
- (3) 図面は、フリーハンドでもよい。
- (4) 寸法単位は、mmとする。

図-1 平面図 縮尺1/100 (下書用)

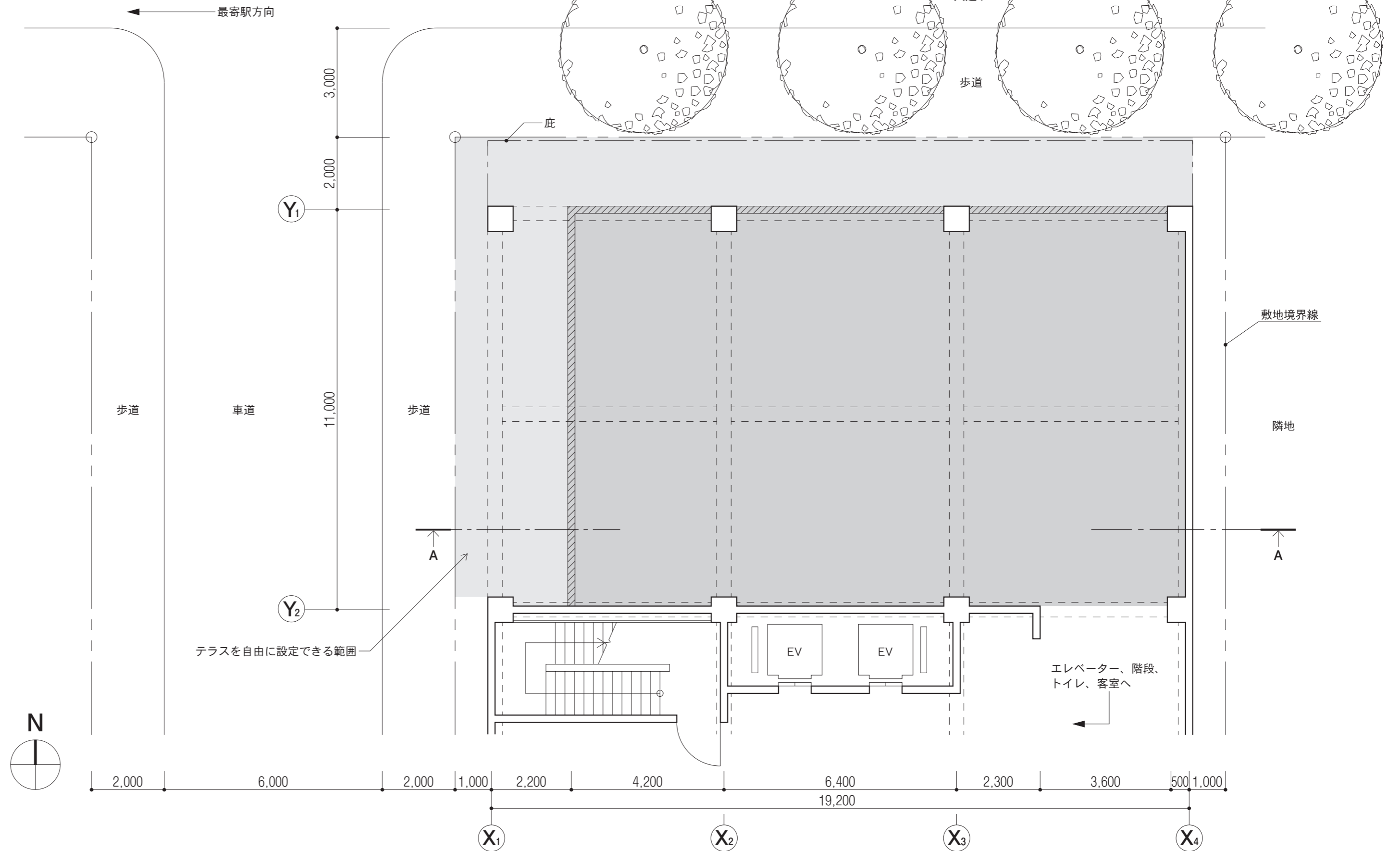
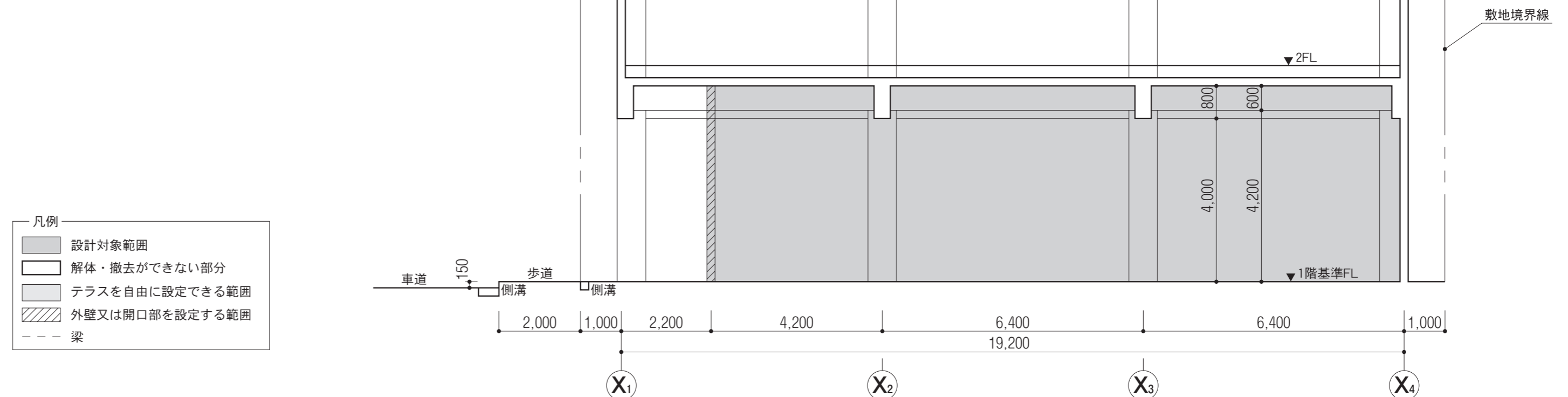


図-2 A-A断面図 縮尺1/100



凡例

	設計対象範囲
	解体・撤去ができない部分
	テラスを自由に設定できる範囲
	外壁又は開口部を設定する範囲
	梁